



2024年3月期 第3四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2024 THIRD QUARTER FINANCIAL RESULTS



2024年2月9日
マツダ株式会社

MAZDA MOTOR CORPORATION

【代表取締役専務執行役員兼CFO ジェフリー・エイチ・ガイトン】

- 本日は弊社の決算説明会にご参加いただきありがとうございます。
- 説明に先立ちまして、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
- また救援や復興に尽力されている皆様に心より敬意を表し、被災地域の皆さまの安全・安心と一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

本日の説明内容

- 決算総括
- 取り組みの進捗
- 2024年3月期 第3四半期累計 実績
- 2024年3月期 通期見通し

- 本日の説明内容です。

決算総括

- まず今回の決算の総括をさせていただきます。

決算総括

2024年3月期 第3四半期累計 実績

- グローバル生産台数 92万7千台 対前年15%増
- グローバル販売台数 93万台 対前年17%増
- 売上高 3兆5,665億円 対前年32%増
- 営業利益 過去最高の2,002億円 対前年83%増

2024年3月期 通期見通し

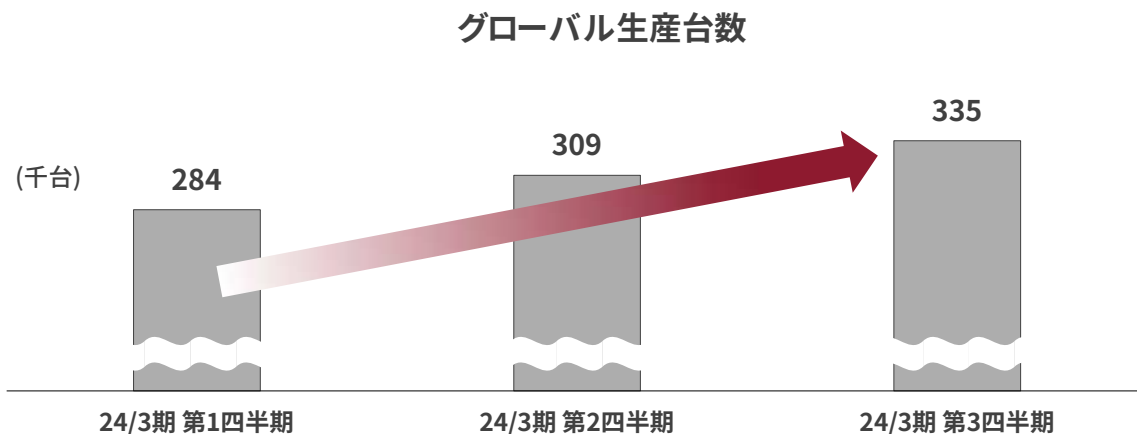
- 通期見通しは11月公表値から変更なし
すべての利益項目でマツダとして過去最高を見込む
- 第4四半期の経営環境の変化・影響を精査中

- まず、第3四半期累計の実績は、すべての利益項目で第3四半期および第3四半期累計として過去最高となりました。
- 米国での販売好調およびCX-90の導入により仕向地ミックスと車種ミックスが対前年で大きく改善しました。
- グローバル生産台数は対前年15%増の92万7千台。
- グローバル販売台数は対前年17%増の93万台。
- 財務実績は、売上高3兆5,000億円を上回り、営業利益は対前年83%増の約2,000億円となりました。
- 通期見通しに対する営業利益進捗率は80%。
- 2024年3月期通期見通しについては、グローバル販売台数、連結出荷台数、財務指標ともに11月の公表値を据え置きます。
- 第4四半期については、能登半島地震を含めた業績影響を精査し最小化に取り組んでまいります。
- 引き続きすべての利益項目で過去最高のアウトプットにチャレンジしてまいります。

取り組みの進捗

生産領域：グローバル生産台数の改善

- 北米・日本・中国の生産が堅調に推移、月10万台以上の安定した生産を継続
- 第3四半期の生産台数は33万5千台、第2四半期および前年同期を上回る



- 今期の各領域の取り組みの進捗についてご説明します。
- 生産領域ではグローバル生産台数が四半期ごとに着実に改善しています。
- グローバル生産台数は第3四半期も安定して10万台以上を生産し、10-12月の生産台数は33万5千台となりました。
- 北米・日本・中国工場の生産台数が堅調に推移し第2四半期および前年同期を上回りました。

取り組みの進捗

販売領域：米国の着実な台数成長、新商品の貢献、中国販売の改善

- 第3四半期のグローバル販売台数は対前年12%増の31万3千台
- 米国では第3四半期として過去最高の販売台数
- CX-90の販売が順調に拡大、ラージ商品のグローバル販売台数は四半期として過去最高
- 中国市場では様々な販売・商品施策が奏功、3四半期連続で販売台数が増加
第3四半期の販売は対前年19%増



MAZDA CX-60



MAZDA CX-90



MAZDA CX-50

- 続いて販売領域です。
- 第3四半期のグローバル販売台数は対前年12%増の31万3千台となりました。
- 米国では第3四半期として過去最高の販売を記録しました。2023年12月は12月として過去最高となりました。また、直近の2024年1月も1月として過去最高となりました。
- CX-90の販売も順調に拡大し、ラージ商品のグローバル販売は導入以来四半期として過去最高となりました。
- 中国市場では様々な販売・商品施策により10月から12月の販売は対前年19%増となり、3四半期連続で販売台数が増加しました。

取り組みの進捗

経営領域：組織・体制づくり

電動化に向けた取り組み

- 2023年11月に「電動化事業本部」を発足
電動化へのリソースを集中させ、取り組みを本格的に加速
- 2024年2月、6年ぶりにRE開発グループを復活
新時代に適合したロータリーエンジンの研究開発を加速



ブランド体験の拡大

- 2023年11月に「ブランド体験推進本部」を発足
お客さまのブランド体験機会の拡大・創出を図る



組織風土改革

- 顧客志向と従業員エンゲージメントを強化する全社的取り組みを開始

- 経営領域です。
- 堅調な業績に加えて、マツダが今期最も重点的に取り組んでいることのひとつは、将来の成功に向けた体制づくり・組織づくりです。これには、組織体制の強化だけでなく、企業風土の改革も含まれます。
- 電動化に向けた取り組みを加速させるため、2023年11月1日付で電動化推進担当役員を設置し、電動化事業本部を発足させました。
- その名のとおりBEVに関する技術面、ビジネス面のリソースを一か所に集め意志決定のスピードを上げ、電動化にむけて柔軟かつ機動的な挑戦ができる体制で活動することを狙いとしています。
- また2024年2月には「RE開発グループ」を6年ぶりに復活させました。
- 発電機用のロータリーエンジン中心に、さらなる効率化やグローバルでのエミッション対応、CN燃料への拡張性などの研究開発に取り組んでまいります。
- マツダの独自性のあるブランドを守り、拡大するため11月1日付で、「ブランド体験推進本部」を発足させました。
- 加えて、組織風土改革のため、顧客志向と従業員エンゲージメントを強化する全社的取り組み（ブループリントと呼ばれています）を開始しております。
- これはお客さまを中心に据えて、お客様がマツダブランドとのつながりをより強く感じていただけるよう、バリューチェーンをどのようにデザインすべきかを描くものです。これは、トップダウンになりがちな企業風土を、最もお客様と接する現場の従業員が主役となり、経営陣がチームメンバーをサポートし、成果を生み出す企業風土に変えていく取り組みでもあります。

2024年3月期 第3四半期累計 実績

- 業績の説明に戻ります。
- 続いて第3四半期累計実績の詳細をご説明します。

2024年3月期 第3四半期累計 台数実績

(千台)	2024年3月期			対前年増減			
	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	
生産台数*	593	335	927	+90	+29	+119	✓ +15%
グローバル販売台数							
日本	82	39	121	+14	-1	+13	+12%
北米	251	129	380	+70	+22	+93	+32%
欧州	90	45	135	+23	+4	+26	✓ +24%
中国	45	28	73	-4	+4	+1	+1%
その他市場	148	73	222	-1	+3	+2	+1%
合計	616	313	930	+102	+32	+135	✓ +17%
米国	184	91	275	+51	+11	+62	✓ +29%
オーストラリア	50	25	75	+6	+3	+9	+13%
ASEAN	38	20	58	-8	+4	-4	-6%

MAZDA MOTOR CORPORATION

※月次公表ベース(中国を含むグローバル生産台数/OEM受給車両は含まない) 9

- 生産台数は対前年15%増の92万7千台。
- グローバル販売台数は対前年17%増の93万台。
- ASEANを除く全ての市場で対前年で販売台数増となりました。
- 第3四半期の3か月の販売は第2四半期を上回りました。
- 先ほどご説明した米国の販売好調に加えて欧州でもCX-60やCX-5の販売台数増加により販売が改善しました。

2024年3月期 第3四半期累計 財務指標

(億円)	2024年3月期			対前年増減			
	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	
連結出荷台数 (千台)	588	300	888	+138	+13	✓ +151	+20%
売上高	23,173	12,492	35,665	+6,748	+1,954	+8,702	✓ +32%
営業利益	1,296	706	2,002	+744	+163	+907	+83%
経常利益	1,792	598	2,390	+689	+348	+1,036	+77%
当期純利益	1,081	574	1,655	+223	+397	+619	+60%
売上高営業利益率	5.6 %	5.7 %	5.6 %	+2.2 pts	+0.6 pts	✓ +1.5 pts	
EPS (円)	171.6	91.1	262.7	+35.3	+63.0	+98.3	
為替レート (円)							
USDドル	141	148	143	+7	+6	+7	
ユーロ	153	159	155	+15	+15	+15	
タイバーツ	4.05	4.15	4.09	+0.26	+0.26	+0.26	
メキシコペソ	8.13	8.42	8.23	+1.47	+1.23	+1.39	

MAZDA MOTOR CORPORATION

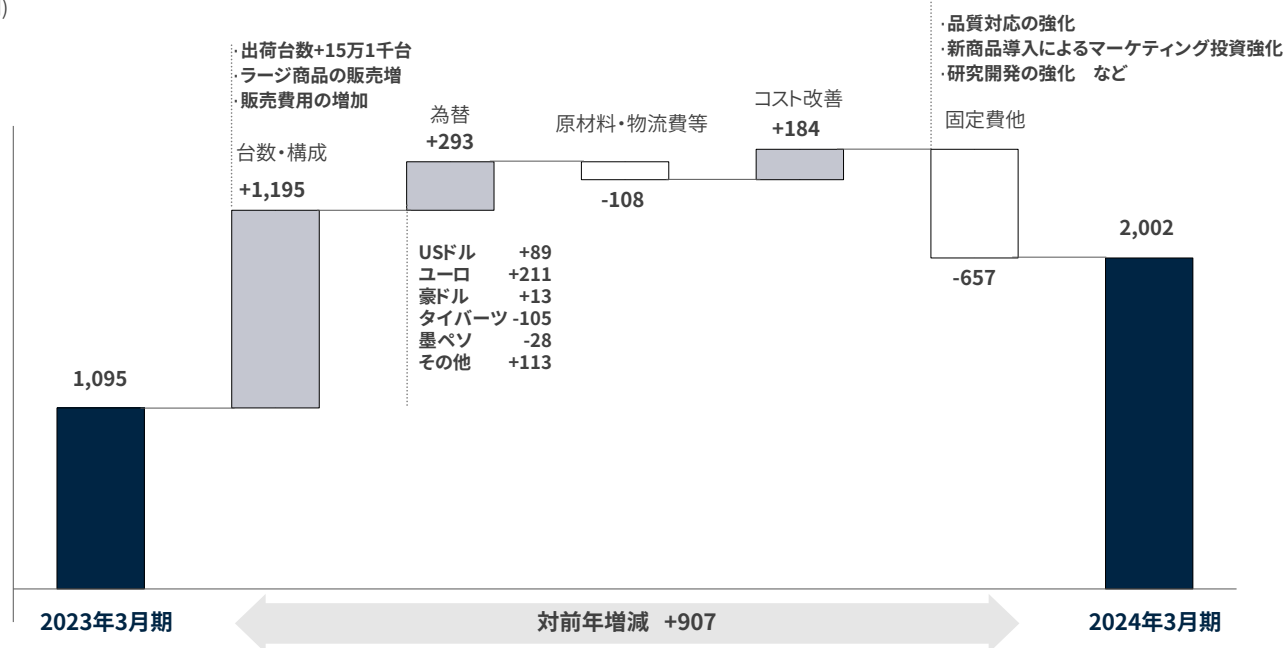
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

10

- 第3四半期累計の財務指標を説明します。
- 連結出荷台数は対前年15万1千台増の88万8千台。
- 第3四半期の連結出荷台数は、第2四半期と同じく3か月で30万台レベルの実績となりました。
- 先ほど申し上げたとおり、累計の売上高は対前年32%増の3兆5,000億円超。
- 営業利益は約2,000億円、親会社株主に帰属する当期純利益は約1,650億円。
- 売上高営業利益率は対前年1.5ポイント増の5.6%です。
- マツダの第3四半期累計実績として全ての利益項目で過去最高の実績となりました。

2024年3月期 第3四半期累計 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



MAZDA MOTOR CORPORATION

11

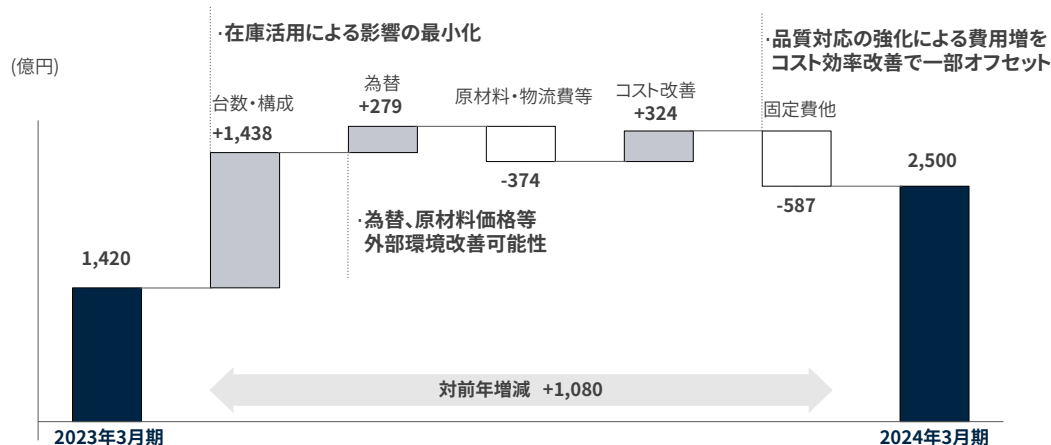
- 続いて営業利益の前年からの改善の内訳についてご説明します。
- 台数構成は、1,195億円の増益要因です。
連結出荷台数の増加に加え、米国のCX-90などラージ商品の販売増が増益に寄与しました。一方で、第3四半期に入り業界全体の供給の回復もあり米国を中心により競争的な販売環境となったため、販売費用が増加し改善を一部オフセットしました。
- 為替は主要通貨に対し大幅に円安に推移した影響で293億円の増益要因です。
- 原材料は、調達部品のエネルギーコストの上昇や人件費の増加により、108億円の減益要因となりましたが、コスト改善活動によりオフセットしました。
- 固定費他は前年水準より約660億円悪化しました。北米での特にCX-90の導入によるマーケティング投資に加え、開発費の増加、直近の2件のリコール対応を含む多くの品質向上に取り組んだことによるものです。
- これらの変動により、前年比約910億円の増益となりました。

2024年3月期 通期見通し

- 続いて、2024年3月期の通期見通しについてご説明します。

2024年3月期通期見通し達成に向けて

- 通期見通しは11月公表値から変更なし
- 経営環境の変化・影響を精査中
- 営業利益見通し2,500億円達成に向けて取り組む



MAZDA MOTOR CORPORATION

13

- 2024年3月期の通期見通しは11月の公表値からの変更はありません。
- 11月公表の台数および財務指標については添付スライドに掲載していますが、ここでは、11月公表時の対前年の変動要因分析を使い、今期末に向けて取り組む様々なリスクとオポチュニティについて説明させていただきます。
- 台数・構成では、能登半島地震の影響として、第4四半期後半以降の部品調達および生産影響を想定していますが、影響の深刻さに対する想定が日々変化しています。パイプライン在庫の活用や代替品の活用などにより今期業績への影響を最小化してまいります。引き続き、自工会の一員として関係先様の復旧復興を支援してまいります。
- 固定費については、品質問題への迅速な対応などにより費用の増加が見込まれますが、コスト効率改善や、為替・原材料価格の改善によりオフセットする見込みです。

クロージング

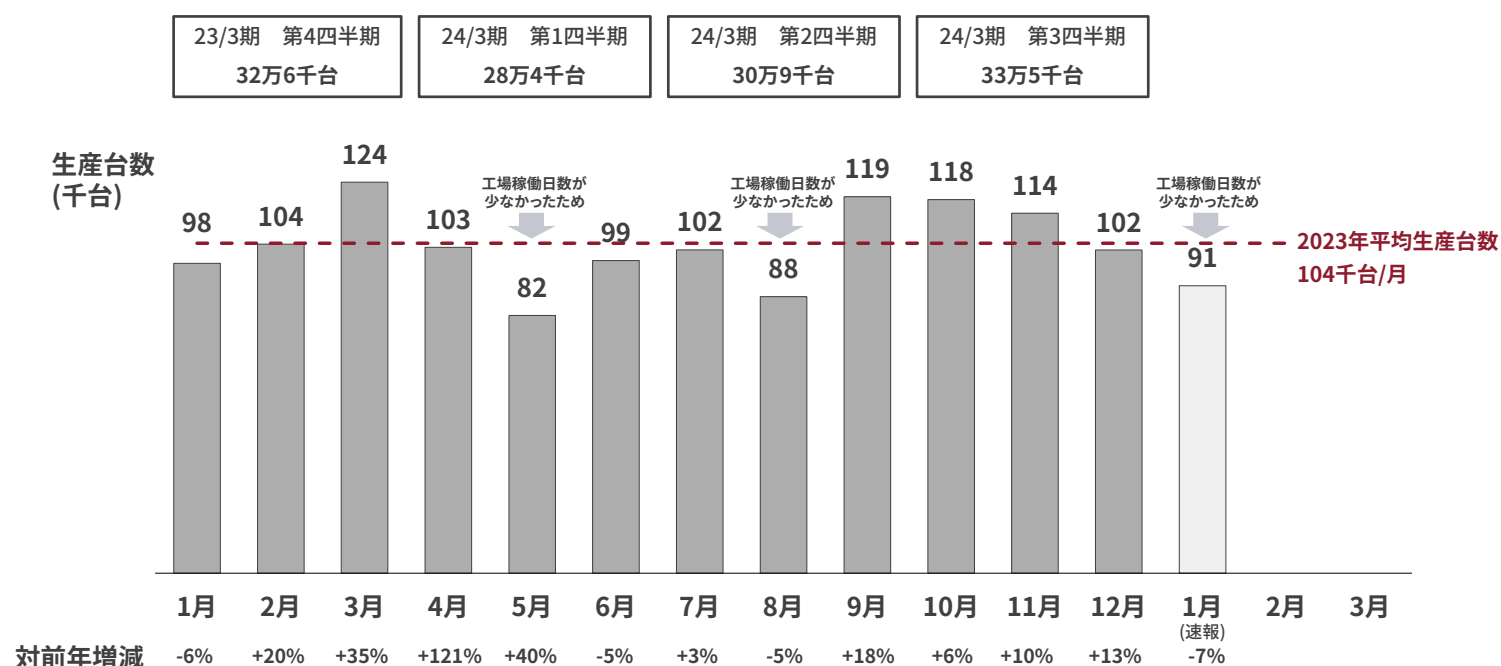
- 2024年3月期第3四半期累計ではすべての利益項目で過去最高
- 2024年3月期通期見通しは過去最高の営業利益2,500億円
- 第4四半期最終週までリスクとオポチュニティを管理

- 最後に改めて今回の決算を総括いたします。
- 今回の決算では、すべての利益項目で第3四半期および第3四半期累計の実績として過去最高となりました。
- 各領域での取り組みが進捗し、販売・生産台数は前年から着実に改善しました。
- 2024年3月期通期見通しについては、11月の公表値を据え置きます。営業利益は2,500億円の見通しです。
- すべての利益項目で過去最高のアウトプットを目指し、引き続き第4四半期の最終週まで地震影響を含むリスクとオポチュニティの管理に取り組んでまいります。
- 以上でプレゼンテーションを終わります。



添付

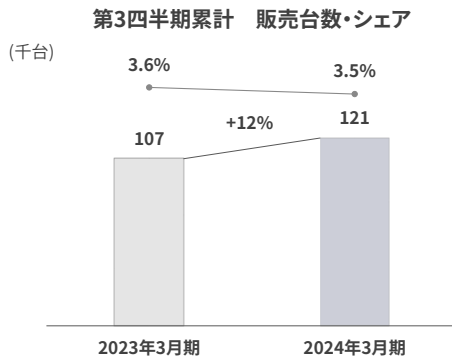
生産台数



日本



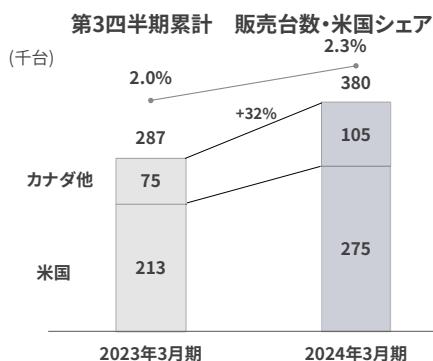
- 対前年12%増の12万1千台を販売
- CX-60・CX-8などクロスオーバーSUVが販売台数増加に貢献
- シェアは対前年0.1pts減の3.5%、登録車シェアは同0.3pts減の4.4%
- ロードスターの商品改良モデルの受注が好調。ダイナミクス性能や先進安全技術を充実させ1月より販売開始



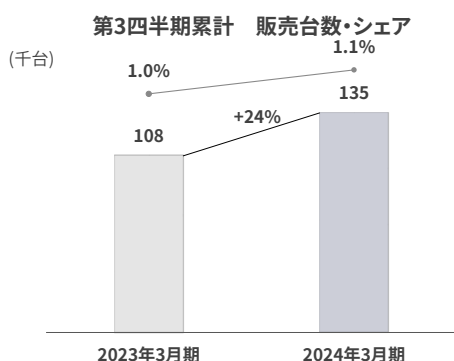
北米



- 米国:
 - 対前年29%増の27万5千台を販売
 - CX-90・CX-5・CX-50・CX-30などのクロスオーバーSUVが販売台数増加を牽引
 - シェアは対前年0.3pts増の2.3%
 - CX-90は第3四半期の3か月間で1万4千台を販売
 - プラグインハイブリッドモデルが好調を維持
 - 2023年12月は12月単月として過去最高の販売台数を記録
- カナダ:
 - 対前年28%増の4万7千台
- メキシコ:
 - 対前年54%増の5万7千台

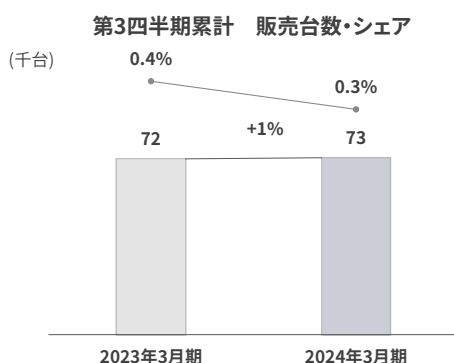


欧州



- 対前年24%増の13万5千台を販売
CX-60・CX-5などが販売台数増加に貢献
- CX-60は第3四半期で7千台を販売
プラグインハイブリッドモデルを中心に堅調な販売を継続
- シェアは対前年0.1pts増の1.1%
- 主要国の販売
 - ドイツ:対前年35%増の3万4千台
 - 英国:対前年18%増の2万2千台

中国



- 対前年1%増の7万3千台を販売
- シェアは対前年0.1pts減の0.3%
- 第3四半期の販売台数は対前年19%増の2万8千台
MAZDA3、CX-5並びに5月末に導入したCX-50の販売が台数増に寄与

その他市場



- 対前年1%増の22万2千台を販売
- オーストラリア:
 - 対前年13%増の7万5千台を販売
 - 第2四半期より導入したCX-60に加えCX-3・CX-30・BT-50が販売台数増加に貢献
 - シェアは対前年0.1pts減の7.9%
- ASEAN:
 - 対前年6%減の5万8千台を販売
 - タイ:対前年41%減の1万2千台
 - ベトナム:対前年1%減の2万4千台
 - マレーシア:対前年33%増の1万4千台

第3四半期累計 販売台数・豪州シェア

(千台)

	2023年3月期	2024年3月期
第3四半期累計	220	222 (+1%)
豪州シェア	8.0%	7.9%
その他	92	89
オーストラリア	66	75
ASEAN	62	58

キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2023年3月期	2024年3月期	対前期末増減
	通期	第3四半期累計	
営業キャッシュ・フロー	1,374	2,100	-
投資キャッシュ・フロー	-994	-893	-
フリー・キャッシュ・フロー	380	1,207	-
現金及び現金同等物	7,171	7,456	+285
有利子負債	6,155	5,350	-805
ネット・キャッシュ	1,016	2,107	+1,091
総資産	32,593	35,150	+2,557
自己資本	14,396	16,222	+1,826
自己資本比率	44 %	46 %	+2 pts

2024年3月期 第3四半期 台数実績

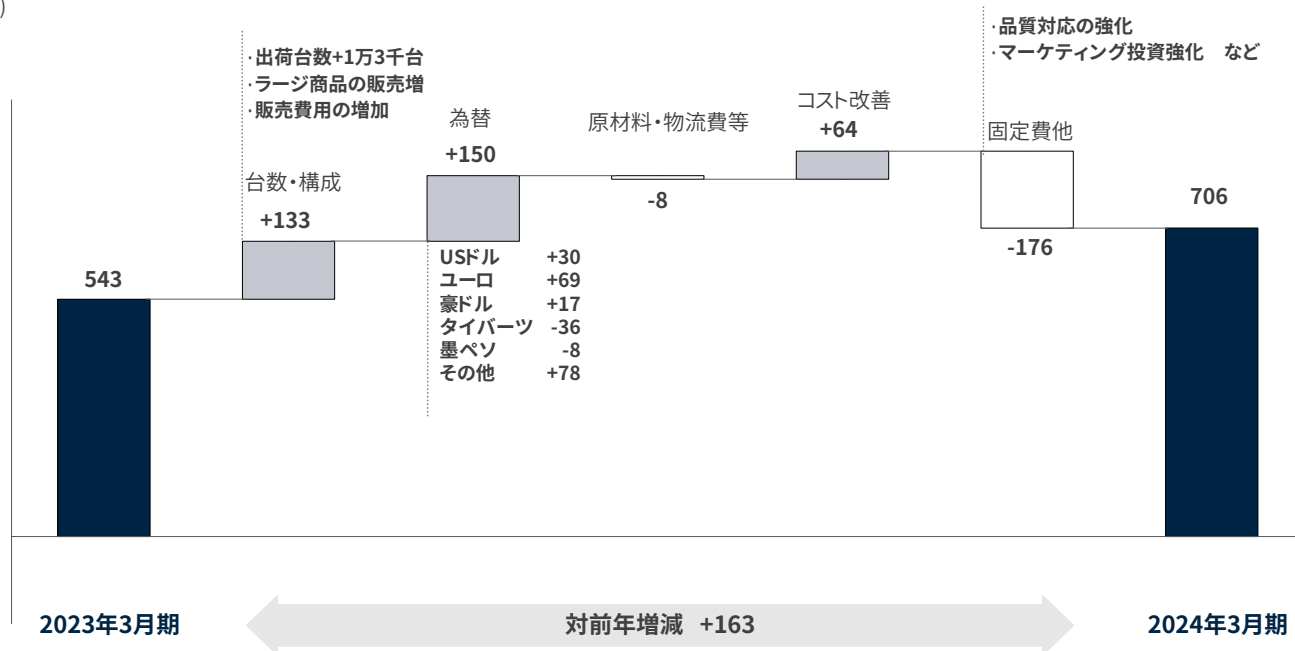
(千台)	2023年3月期		2024年3月期		対前年増減	
	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期
生産台数※	306		335		+29	+9%
グローバル販売台数						
日本	39		39		-1	-2%
北米	107		129		+22	+21%
欧州	41		45		+4	+9%
中国	23		28		+4	+19%
その他市場	70		73		+3	+4%
合計	281		313		+32	+12%
米国	80		91		+11	+14%
オーストラリア	22		25		+3	+14%
ASEAN	16		20		+4	+24%

2024年3月期 第3四半期 財務指標

(億円)	2023年3月期		2024年3月期		対前年増減	
	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期	第3四半期
連結出荷台数 (千台)	287		300		+13	+5%
売上高	10,538		12,492		+1,954	+19%
営業利益	543		706		+163	+30%
経常利益	250		598		+348	+139%
当期純利益	177		574		+397	+224%
売上高営業利益率	5.1 %		5.7 %		+0.6 pts	
EPS (円)	28.1		91.1		+63.0	
為替レート (円)						
USドル	141		148		+6	
ユーロ	144		159		+15	
タイバーツ	3.89		4.15		+0.26	
メキシコペソ	7.19		8.42		+1.23	

2024年3月期 第3四半期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



2024年3月期 通期 台数見通し

(千台)	2023年3月期	2024年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期	通期	通期
グローバル販売台数					
日本	165	176	+12	+7%	0
北米	407	537	+131	+32%	0
欧州	160	193	+33	+20%	0
中国	84	91	+7	+8%	0
その他市場	294	289	-5	-2%	0
合計	1,110	1,286	+176	+16%	0
米国	301	389	+88	+29%	0
オーストラリア	91	100	+8	+9%	0
ASEAN	78	70	-8	-10%	0

2024年3月期 通期 財務指標

(億円)	2023年3月期		2024年3月期		対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期
連結出荷台数 (千台)	1,059	1,220	+161	+15%	0		
売上高	38,268	48,000	+9,732	+25%	0		
営業利益	1,420	2,500	+1,080	+76%	0		
経常利益	1,859	2,540	+681	+37%	0		
当期純利益	1,428	1,700	+272	+19%	0		
売上高営業利益率	3.7 %	5.2 %	+1.5 pts		0 pts		
EPS (円)	226.7	269.8	+43.1		0		
為替レート (円)							
USドル	136	140	+5		0		
ユーロ	141	151	+10		0		
タイバーツ	3.84	3.95	+0.11		0.00		
メキシコペソ	6.90	8.02	+1.12		0.00		

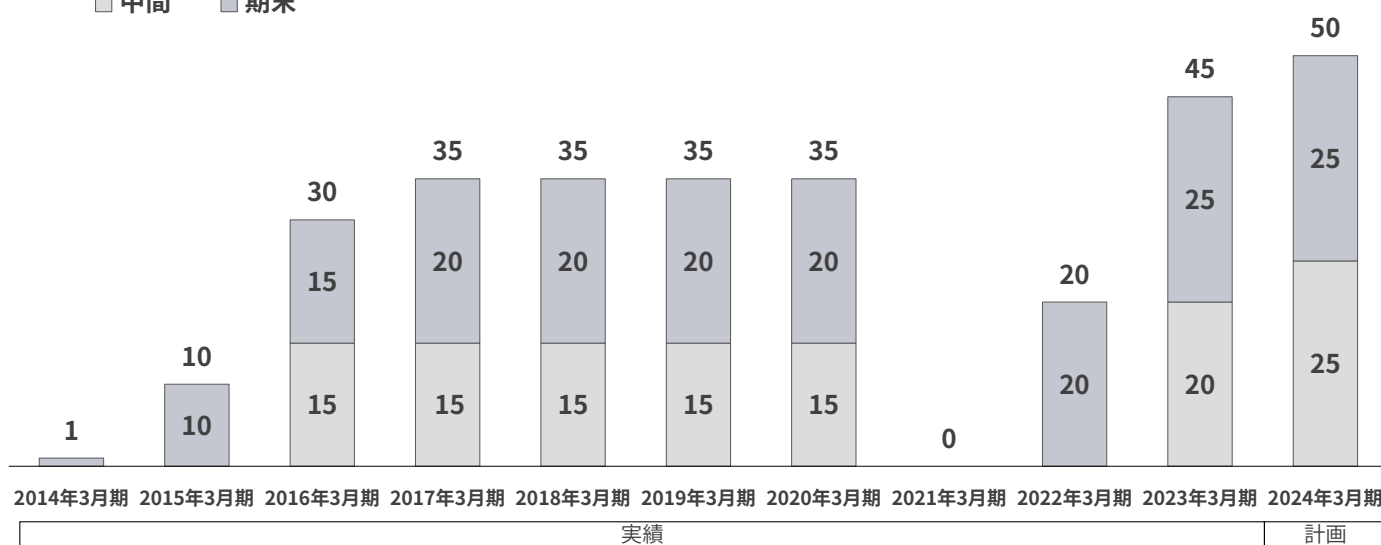
為替レート

(円)	2024年3月期				対前年 増減				対11月公表増減
	1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期	通期
USドル	138	145	148	140	+8	+6	+6	+5	0
ユーロ	150	157	159	151	+11	+18	+15	+10	0
カナダドル	102	108	109	104	+1	+2	+4	+1	0
オーストラリアドル	92	95	96	91	-1	0	+3	-1	0
英ポンド	172	183	184	175	+9	+20	+18	+11	0
タイバーツ	3.99	4.12	4.15	3.95	+0.22	+0.31	+0.26	+0.11	0.00
メキシコペソ	7.79	8.48	8.42	8.02	+1.31	+1.65	+1.23	+1.12	0.00

配当について

一株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末



注) 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っております。
 一株当たり配当金は各年度における実際の配当金額を表しています。

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。